

<b>授業科目名</b>	生化学(2300106)		
<b>時間割名</b>	生化学(52202)		
<b>時間割担当</b>	大西武雄		
<b>実施期</b>	前期	<b>単位数</b>	1 必修
<b>曜日・時限</b>	金・2		

### 授業の目標・概要

生体基本物質（アミノ酸・酵素・糖質・脂質・核酸）の性質および機能について学ぶ。また、これらの物質代謝機構を理解し、物質レベルでの人の病気と異常（代謝）との関連について学習する。

### 学習の到達目標

生体の恒常性の維持に必要とされる生体基本物質の構造と機能を学び、将来の看護実践のための糧とする。「ヒトが生きている」ことを化学反応から理解できることを養う。

### 授業方法・形式

講義

### 授業計画

- 第 1 回 生命活動を細胞の構造・化学組成から説明できる。
- 第 2 回 生命活動を酵素反応として説明できる。栄養と酵素反応の関係を説明できる。
- 第 3 回 栄養の代謝、異化が消化酵素、糖・脂質・アミノ酸・核酸代謝から説明できる。
- 第 4 回 生体の酸素呼吸・エネルギーATP合成のしくみが説明できる。
- 第 5 回 エネルギーATPの利用が説明できる。
- 第 6 回 ホルモン・内分泌系に関する化学物質と神経系との関係を説明し、生体の恒常性と環境の変化の受容・応答・適応が説明できる。
- 第 7 回 代謝異常が病気の発症に関与することが説明できる。
- 第 8 回 代謝異常症の治療が化学反応の変化から説明できる。

この計画は状況により変わることがあります。

### 成績評価の基準

筆記テスト・レポート提出

### 授業時間外の課題

### メッセージ

授業内容をより分かりやすいように、ホームページからダウンロードできるようにする。

### 教材・教科書

系統看護学講座「生化学」医学書院

### 参考書

講義の中で適宜紹介します。  
必要に応じて、プリント等資料を配布します。